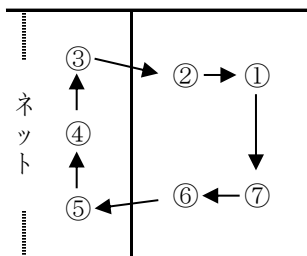


燕市ソフトバレーボール規則

- ◎競技方法
- (1) 試合は、予選はリンク方式、決勝はトーナメント戦とする。ただし、参加チーム数によっては、変更することもある。
 - (2) 試合は7名とし、チーム登録者は、12名までとする。
 - (3) コートは、6人制バレーボールコートとする。
 - (4) ネットの高さは、215cmとする。
 - (5) 男子はジャンプを伴う攻撃をしてはならない。
 - (6) 15点3セットマッチとする。
 - (7) サーブは、サービスライン(エンドラインより3m・サイドラインより3m)より行い、体をネットに平行に構えてアンダーサーブ1本とする。
 - (8) サーブは、ローテーション方式とする。
 - (9) ワン・ツー・スリーで相手コートに返す。(ワンやツーで相手に返した場合は、失点となる。また、ブロックはできない。)
 - (10) ボールが、コート区画線を含むコート内に接触したとき、そのボールはインとなる。
 - (11) 選手交代については1セット6回までとする。但し交代した人とはしか交代できない。
 - (12) タイムは、1セットにつき2回までとする(1回30秒)
 - (13) セット間の休憩は3分、ただし選手の状態によって変更することもある。
 - (14) 各チームより主審、副審、線審、得点板係を必ずお願いします。
 - (15) デュースとなった場合、最大で17点先取とする。
 - (16) 主審は故意的なポジションの移動があった場合、警告することができる。
二度目からは反則行為とみなす。
 - (17) 試合前の合同練習は3分間とする。(3本ではない)
 - (18) その他、タッチネットやオーバーネット等の基本的ルールは燕西蒲地区7人制ソフトバレーボール競技規則に準ずる。



※①の位置に来た人がサーブを行う。

※プレー中は故意にポジションの移動(交差)をしてはならない。

※サーブの時に前衛の者は、フロントゾーンの外側に位置してはならない。

(片足がアタックラインを踏んでいけばよい)

※ジャッジアピールはキャプテンのみとする。